

## コロナ禍後

さて漸く世界的感染であったコロナ禍が終息に向かっております。政府は新型コロナウイルスの感染上の分類を5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることを決めました。3年という長い期間でありました。時代はどう変化したのでしょうか。私にとっては人生観、世界観を変えるまたとない絶好の機会となりました。コロナ禍に突入した時が55歳でした。ゴーゴーでどこ吹く風とこの機会を好機と捉え投資をしまくりました。結果的には過去最高益となり最高の一年にすることはできました。そしてこの3年間も増収を続け今年の決算書は初の2億円を越えました。コロナ禍の影響をまったく受けることなく事なきを得ました。今後は毎年1.25倍での成長率を約束したいと思います。これからは本当にありがたいお坊さん お寺さん(檀)信徒 職員だけの構成でよいのかなと思っております。人的資本経営が原則でありそれが当院のパーパス経営です。この4月から入社した佐藤さんは事務処理 法務 遺体搬送から納棺師 塔婆書き 清掃から雑用までなんでもこなすエキスパートです。家内も負けじと死化粧から清拭、霊柩業務となんでもこなしております。私も昨夜は都内の病院へと雨天の中 高速を走らせご遺体の引き取りに行ってきました。まさに365日24時間営業寺院です。これだけやっていますから何も恐れるものなどありません。ガンガン投資もしています。そうした中で隙間時間は常に法律の勉強です。資格試験に合格するまでは鎖国をすると決意しております。海外も国内も仕事や出張以外では出かけることは今はありません。禁足生活です。特に台湾の高僧海濤法師とお会いしてからはその影響を受けてほぼビーガンでの食生活です。勿論 昔から禁煙禁酒は厳守です。ゴルフやギャンブルや株式投資 資産運用なども一切しません。最近はお食事をすることさえもほぼありません。そのため接待交際費はまったく使わないため寺院への境内整備

などに注ぎ込んでいます。新墓地の建立だけでも現在 10 件以上です。容赦なく攻めまくるつもりです。ジェット機が滑走路から飛び立つ心境です。大いに羽ばたきたいと思います。大空を見上げて上空から地上を見下ろしたいものです。この 57 歳という時間帯も残すところあと僅かです。次は 59 歳で大勝負を画策しています。還暦を過ぎてしまうと年齢的な魅力は半減してしまいます。今のうちです。娘と息子はいまだ高校生と中学生ですがすでに寺院経営について積極的な提案をしてきます。次世代の人たちと張り合えるようにもっと勉強をしないといけないと思う今日この頃です。またエコ寺院を目指す上でも職員のユニホームを黒 T シャツ 黒パンツでもよいかと思っております。私も最近はその五本指ソックスで毎日を快適に暮らしております。筋力トレーニングにも余念なく努めております。必ずしも作務衣に固執することもないのかなど。冷暖房費の節約も非常に大切です。コロナ禍後は大再編時代です。さらなる変化の波に飲まれていきます。私はいずれ資金よりも時間の方が遥かに重要で足りなくなることを見込んで猛スピードで投資を続けています。後からいつも資金は追いつきます。しかしながら失った時間だけは取り戻せません。これからの日本社会いや日本仏教は超格差社会となるはずで、ここでしっかりと基盤を再構築して投資ができない寺院から早晚潰れます。当院はここからがとても面白くなります。しっかりと泳ぎ切っていきたいと思います。

合掌

令和 5 年 6 月 13 日

見性院住職